

平成27年度第1回印西市学校適正配置審議会 会議録

- 1 開催日時 平成27年5月25日(月) 午前10時～11時50分
- 2 開催場所 印西市役所 4階 41会議室
- 3 出席者 明石 要一 委員、吉田 劭 委員、篠原 英光 委員
並木 進 委員、内田 圭子 委員、齊藤 秀樹 委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 大木教育長、小山教育部長、山崎教育部参事、井上学務課長
伊藤主幹、佐久間主幹、海老原主査、櫻井主査
- 6 傍聴者 7名(会議開会時4名、会議開会后3名)
- 7 議 事 (1) 印西市における学校適正配置について
(2) 印西市立小学校及び中学校の現状について
①小中学校の配置及び通学区域の状況
②印西市の人口推移
③小中学校の児童生徒数及び学級数の推移
(3) その他
- 8 議事録 (要点筆記)

事務局 本日はご多用のところ、お集まりいただき、ありがとうございます。
会議に先立ちまして、何点かご説明とご報告をさせていただきます。
会議の公開と傍聴規定についてでございますが、当審議会につきましては、原則
公開とさせていただきます。また、傍聴につきましては、事務局で傍聴要領を作
成しております。この傍聴要領に沿って受付しておりますことをご報告申し上げ
ます。なお、本日の傍聴者は、現在のところ4名でございます。
次に、「会議の録音及び会議録の署名等について」でございます。会議は会議録
を作成する都合により録音させていただきます。また、会議録の署名についまし
ては、毎回2名の委員の方をお願いしたいと考えておりますが、作成方法を含め
まして、後ほどご協議いただきます。
なお、会議録につきましては、ご署名いただいた後、市役所行政資料室への設
置や市ホームページへの掲載を考えております。会議録の公表にあたりましては、
発言者の氏名を伏せて行いますことを申し添えます。

それでは、只今より、平成27年度第1回印西市学校適正配置審議会を開会いた
します。

はじめに、委嘱状の交付を行います。

【大木教育長より各委員に委嘱状を交付】

ここで、会議の開催について、ご説明とご報告をさせていただきます。

印西市学校適正配置審議会設置条例第7条第2項において、「審議会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。」と規定されております。

本日の出席委員は、6名中6名でございますので、同条例の規定に基づく定数に達しておりますことから、ここに会議が成立いたしますことをご報告させていただきます。

続きまして、次第の3「教育長あいさつ」、大木教育長よりご挨拶申し上げます。

教育長 本日はご多用のところ、印西市学校適正配置審議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

全国的に少子化が進展するなか、本市の児童生徒数はわずかながら増加傾向が続いております。このようななか、市では平成27年4月に牧の原小学校が開校し、小学校が21校、中学校が9校、計30校となりました。

各小中学校別の児童生徒数の推移をみますと、児童生徒数が極端に増加する地域と減少する地域が混在し、学校の小規模化と大規模化が同時に進行している状況となっております。

このような状況を踏まえ、教育委員会では、昨年度末に適切な学校規模の考え方をまとめ、また、文部科学省からも「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が示されたこともあり、今後、印西市の小中学校の配置をどのようにしていくことが適切なのかということが課題となっております。

審議会の委員の皆様には、この課題となっている学校の適正配置について審議し、答申をいただきたいと思いますと考えております。よろしくお願いいたします。

事務局 続きまして、次第の4「委員及び事務局職員紹介」に入らせていただきます。

第1回目の審議会でございますので、委員の皆様のご紹介をいたしたく、恐れ入りますが、自己紹介という形をお願いいたします。

【委員及び事務局職員の自己紹介】

続きまして、次第の5「会長及び副会長の選出」に入らせていただきます。

当審議会の会長及び副会長につきましては、印西市学校適正配置審議会設置条例第6条第1項において、「委員の互選により定める」としております。

また、会議の議長につきましては、同条例第6条第2項の規定において、「会長が会議の議長となる」としてありますが、会長が決まっておられませんので、会長及び副会長が決まるまでの間、小山教育部長を仮議長として進めさせていただきます。

たいと思います。

小山教育部長、お願いします。

仮議長 それでは、会長及び副会長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

最初に、会長の選出ということでございますが、会長につきましては、印西市学校適正配置審議会設置条例第6条第1項において、「委員の互選により定める。」としております。互選の方法は、どのようにいたしましょうか。

委員 推薦でお願いしたいと思います。

仮議長 推薦でよろしいか。

委員 異議なし。

仮議長 異議がないようですので、それでは、どなたかを推薦していただけますでしょうか。

委員 明石委員を推薦したいと思います。

仮議長 その他ございますか。

ないようですので、明石委員に会長をお願いしたいと思います。賛成の方は拍手をお願いします。

【拍手多数】

仮議長 会長は明石委員に決定いたしました。

続きまして、副会長の選出について互選の方法は、どのようにいたしましょうか。

委員 推薦でお願いしたいと思います。

仮議長 推薦でよろしいか。

委員 異議なし。

仮議長 異議がないようですので、それでは、どなたかを推薦していただけますでしょ

うか。

委員 篠原委員を推薦したいと思います。

仮議長 その他ございますか。

ないようですので、篠原委員に副会長をお願いしたいと思います。賛成の方は拍手をお願いします。

【拍手多数】

仮議長 副会長は篠原委員に決定いたしました。

会長及び副会長の選出が終わりましたので、議長を会長に交代させていただきます。

事務局 それでは、会長及び副会長よりあいさつをいただきたいと思います。

議長 会長となりました明石でございます。よろしく申し上げます。

この審議会においては、15年後を見据え、学校や社会がどのように変化していくのかも考えて、議論していきたいと思います。

現在、中央教育審議会でも議論していますが、15年後の学校がこのままのはずがなく、従来の学び方で良いのか、10年後にはどのように変わっていくのか検討しています。

また、今後は教室や学校を越えた新しい学び方がでてくるので、学校のあり方がこのままで良いのかが問われてきます。

今後、10年から15年先の学校の学び方やあり方の変化も視野に入れて、地域における学校の適正配置はどうあるべきかを考え、具体的な印西市の学校適正配置について議論していきたいと思います。

副会長 会長からお話のあったことも視野に入れ、市内で児童生徒数が急増している学校と減少している学校とを、今後どのような学区編成にするのか、いろいろな意見を出し合いながら議論していきたいと思います。

議長 それでは、次第の6「会議録の作成方法と署名人」に入ります。

事務局より説明をお願いします。

事務局 皆様にご協議いただきたい内容が2点ございます。

1点目は、「会議録の作成方法について」でございます。

会議録につきましては、その作成方法といたしまして、「全文筆記」と「要点筆記」がございます。

事務局といたしましては、「要点筆記」の方法により作成させていただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

2点目は、「会議録署名人について」でございます。

会議録署名人につきましては、毎回2名の委員の方に署名をお願いしたいと考えております。

事務局といたしましては、本日お配りした議長を除く名簿順でお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

以上、2点についてお伺いいたします。

議 長 事務局から説明がありました。1点目の会議録の作成方法について、ご意見ありますか。

委 員 要点筆記で進めて良いと思います。

議 長 要点筆記という意見がありました。要点筆記とすることでよろしいか。

委 員 異議なし。

議 長 続いて2点目の会議録署名人につきまして、ご意見ありますか。

委 員 事務局案に異議なし。

議 長 異議なしと認め、今回の会議録署名委員は篠原委員と吉田委員にお願いします。

続きまして、次第の7「諮問」に入ります。事務局より説明をお願いいたします。

事務局 印西市立小学校及び中学校の適正配置について（諮問）

【教育委員会から明石会長へ諮問】

議 長 只今、教育委員会から「印西市立小学校及び中学校の適正配置について」諮問がありました。

今後は、児童生徒のより良い教育環境の整備と教育の質の向上を図るため、学校適正配置のあり方、学校適正配置の取組み方について、協議・検討を進め

てまいりたいと思います。

それでは、次第の8、議事に入ります。

(1)「印西市における学校適正配置について」を議題とします。
事務局の説明をお願いします。

事務局 印西市における学校適正配置について
【事務局、資料1-1、1-2に基づき説明】

議長 全体的な趣旨と具体的なスケジュールの説明でした。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

議長 事務局としては、答申案のページ数ほどの程度を想定しているのか。
事務局として、大きな計画がほしいのか、行動計画までほしいのか。そこを
理解しておけば議論が進めやすい。

事務局、 次回の審議会で、柱となる部分をお示ししたいと思います。また、内容は出
来る限り簡潔になるようにしていきたいと考えておりますが、答申案のページ数
はまだ想定しておりません。

議長 この他に印西市の現状を知るために、審議会に資料の提供をお願いしたい。
1点目として、印西市立小中学校の文部科学省全国学力テストの結果につい
てA問題、B問題毎に学校名はいらないが、学校規模別にまとめてください。
2点目として、学校規模別での要保護・準要保護の支給率。地域差があるか
わからないが、地域差なのか、学校差なのか検証したい。
3点目として、体力テストについて、学校規模で差があるのか検証したい。
4点目として、健康診断において、虫歯治癒率が半年後、1年後にどうなっ
ているのか検証したい。これは、学校差なのか、家庭差なのか検証したい。
5点目として、学校における怪我の率についても報告願いたい。これは、安
全管理の観点から検証したい。
基礎的なことを検証するとみえてくる部分があるので、答申を出す際の参考
としたい。
従来の適正配置は、人数のみであったが、資料があることにより議論がしや
すいので、情報提供をお願いします。

事務局 次回の審議会までに準備できるものは、提示していきたいと思います。

議 長 このような資料は提示できるかわからないが、児童生徒の家庭に3世代住んでいる世帯、2世代住んでいる世帯、また転勤により住んでいる世帯があると思うが、全体の7割くらいが3世代同居していると一番安定すると考えられる。学校運営の視点からもみていければと考えているのでお願いできればと思います。

事務局 調査に時間がかかるものもありますので、先ほどの資料提供の要望と同様に可能な限りの努力をしていきたいと考えております。

議 長 了解しました。
他に資料として提示いただきたいものはありますか。

委 員 この次に児童生徒数等の推計の話もありますので、他の資料の内容をみて追加する資料を依頼することとしたら良いのではないかと。

議 長 他にありますか。

委 員 スケジュールについてですが、任期は2年となっており、答申予定は年度末になっている。答申が出たら委員としては終わりになるのか。

事務局 設置条例に任期がありますので、2年とさせていただいております。答申はひとつの区切りと考えております。

委 員 「資料1-1」印西市における適正配置について、3月の答申後に（仮称）印西市学校適正配置基本方針とあり、その中に印西市が目指す教育という内容がある。

今後、印西市における学校適正規模の考え方の説明予定はあるが、印西市がめざす教育については説明をいただく予定がない。この部分の説明をいただかないと先を見据えた議論ができないため、次回の審議会で説明をお願いしたい。

事務局 教育振興基本計画の内容について、次回の審議会でご説明したいと考えております。

議 長 印西市の教育振興基本計画期間が、平成29年度までとなりますので、これからの印西の教育についても議論し、理解をしたうえで審議会としての答申を出していきたいと考えます。

次に（２）「印西市立小学校及び中学校の現状について」を議題とします。
事務局より説明をお願いします。

事務局 （２）印西市立小学校及び中学校の現状について
① 小中学校の配置及び通学区域の状況
② 印西市の人口推移
③ 小中学校の児童生徒数及び学級数の推移
【事務局、資料２－１～４－５に基づき説明】

議長 事務局からの説明が終わりました。ご質問等ありましたらお願いします。

委員 資料４－３について、平成２７年度の船穂小、本埜第一小は複式学級が「１」
となっているが、増置教員により複式学級が解消されるという認識で良いか。

事務局 船穂小、本埜第一小の複式学級「１」は、増置教員を活用しても５学級です
ので、複式学級が１学級あるということになります。

委員 永治小と宗像小は複式学級がなく５学級となっているが、これはどういう状
況か。

事務局 永治小と宗像小は児童が１人もいない学年があるため、５学級となっていま
す。

委員 資料４－３から４－５で児童生徒数の推計が、平成３３年までの推計になっ
ているが、印西市の推計で１０年～１５年先までの推計があればお願いしたい。

事務局 推計として出せるのは平成３３年度までの期間で、平成３４年度以降の推計
は現在ありません。

議長 今年度、国勢調査が予定されております。中間報告がどの時期に出るかわか
りませんが、今後の人口推計が大きく変わることも考えられる。
人口問題研究所で示している人口推計もありますが、推計はあくまで推測で
すので、どこまで信用するかは難しい。問題意識を持って進めるのは大切だが、
ここでは、まず基礎、基本の資料で議論を進め、参考となる推計があれば活用
していきたいと考えます。

委員 永治小、宗像小において学年が１人もいないとのことだが、０人の学年は、

何年生か。

事務局 永治小は2年生、宗像小は4年生が0人となっています。

委員 この2校は入学時から0人だったのか。

事務局 永治小については、入学時から0人、宗像小については、2年生が進級するときに0人となりました。

議長 他にありますか。

委員 外国人の児童生徒数は、どのくらいの割合で在籍しているのか。

議長 次回、資料をお願いします。

事務局 外国人子女の人数ということで良いか。

議長 市内の高校は印旛明誠高校があると思うが、専門学校はあるのか。
卒業後のボランティアによって小規模校が元気なることも考えられるので、
情報提供してほしい。

事務局 市内には、印旛日本医大看護専門学校があります。

議長 本日の説明を受けて、個人的な感想としては、学年0人と小規模校が多い現
状に驚いた。他にありますか。

委員 今後は、大規模化と小規模化している学校を中心に議論を進めていくのか。
全小中学校を対象に進めていくと時間がないように感じる。

事務局 小規模校や大規模校については、審議会の議論とは別に速やかに対応を検討
していかなければならない状況にありますので、審議会では、その方向性も含
みながら市全体をみて、議論を進めていただきたいと思います。

委員 具体的には動くのは、その後ということなるのか。

事務局 そのように考えます。

議 長 (3)のその他はありますか。

事務局 特にありません。

議 長 以上で本日の議事は終了します。進行を事務局へ戻します。

事務局 ありがとうございました。次第9その他、(1)事務連絡をさせていただきます。

【事務局より次回開催日と委員報酬について説明】

事務局 それでは、以上をもちまして、平成27年度第1回印西市学校適正配置審議会を終了させていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。

会議資料

- ・資料1-1 印西市における学校適正配置について
- ・資料1-2 印西市学校適正配置審議会設置条例
- ・資料2-1 印西市小中学校通学区域図
- ・資料2-2 市内の市街化区域図
- ・資料3 印西市の人口推移について
- ・資料4-1 児童生徒数の現状と推移について
- ・資料4-2 最小規模校と最大規模校の児童生徒数の推移について
- ・資料4-3 小学校の児童数・学級数の推移 中学校の生徒数・学級の推移
- ・資料4-4 中学校区別の児童生徒数の推移
- ・資料4-5 小中学校の学級数の現状と推移について

平成27年度第1回印西市学校適正配置審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成27年6月/6日

委 員

委 員